

平成29年9月15日

報道機関各位

北九州市港湾空港局
環境局

ヒアリの確認について

平成29年9月14日（木）、環境省が「ヒアリ確認地点の周辺2km程度の調査（2回目）」（粘着トラップ回収、目視調査）を太刀浦第1コンテナターミナル（以下、「太刀浦第1CT」という。）及びその周辺で実施しました。

回収されたアリ7匹について、専門家による調査の結果、特定外来生物である「ヒアリ」と確認されましたので、お知らせします。

1 発見の経緯

- 9月7日（木） 環境省が「ヒアリ確認地点の周辺2km程度の調査（2回目）」を太刀浦第1CT及びその周辺で実施した。
- 9月14日（木） 環境省が「ヒアリ確認地点の周辺2km程度の調査（2回目）」を太刀浦第1CT及びその周辺で実施した。
- 9月15日（金） 回収されたサンプルからヒアリらしきものが7個体いたため、環境省九州地方環境事務所が専門家に確認を依頼した。
専門家の確認の結果、すべてが「ヒアリ」であることが判明した。
12時頃、九州地方環境事務所及び国土交通省九州地方整備局から、本市に報告があった。

2 本市の対応について

（1）これまでの対応

- (6/20) 神戸港での「ヒアリ」が発見されたことから、太刀浦第1CT・ひびきCTを目視点検（未発見）、北九州港関係者へ注意喚起を行うとともに、北九州港HPへ掲載
- (6/30) 名古屋港での発見を受けて、次の寄港地太刀浦第1CTを目視点検（未発見）
- (7/11) 太刀浦CT・ひびきCTへベイト剤（殺虫えさ）を設置
- (7/24) 北九州市の関係部局で「特定外来生物ヒアリに関する庁内連絡会議」を開催

（2）本日9月15日（金）の緊急対応（13:30～14:30）

太刀浦第1CT内において、当該ヒアリが発見された付近を目視点検し、ヒアリがいないことを確認したうえ、ベイト剤を再設置した。

（3）今後の対応

今回のヒアリ発見を踏まえ、引続き、北九州港関係者へ注意喚起を促すとともに、国等関係機関との連携や関係事業者との連絡体制の強化を図りながら、ヒアリ対策を進めていきたいと考えている。

また、9月15日(金)に、庁内関係課による連絡会議を開催し、情報共有を図り対応にあたることとする。

3 ヒアリの繁殖等について

今回確認されたヒアリは微量であること、本日の緊急点検では太刀浦第1CT及びその周辺からのヒアリの発見情報がないことから、現時点でヒアリが当地域周辺に定着し繁殖している可能性は低いと考えられる。

しかしながら、当地域周辺に侵入した可能性も否定できないため、本市としては可能な限りの対応を行う。

4 注意事項

ヒアリは強い毒を持っている。生きた個体を絶対に素手で触らないこと。

刺された場合、体質によってはアナフィラキシー・ショックを起こす可能性がある。

5 問い合わせ先

■発見の経緯・港湾での対応に関すること

港湾空港局港営部港営課 担当：檜山、松田

電話：093-321-5951 FAX：093-331-5501

■特定外来生物ヒアリの情報提供・収集に関すること

環境局環境監視部環境監視課 担当：中野、江藤

電話：093-582-2239 FAX：093-582-2196